

集団への参加（幼稚園・保育園）

同年齢の健聴児集団の中での活動に参加することを「統合=インテグレーション（integration）」と呼びます。回数、時間などはそのお子さんの発達やご家庭の状況により様々です。

同年齢での集団活動への参加は個別へのセラピーとは異なる目的があり、お子さんがより有意義に集団活動へ参加できるよう、ご家庭でも事前事後に集団活動について扱う必要があります。

1. 集団活動へ参加する目的

- セラピーやご家庭で身につけた、または身につけつつある事柄を同年齢の健聴児集団の中での活動に参加しながら学習し、言語生活の経験を更に広げる
- 大勢の先生や友達の中で自分を適応させていく社会性を身につける（集団生活の中のルールの理解や言葉を通してのやりとりなど）
- 園生活を通して健聴児の行動のテンポや会話、仲間同士の付き合い方などを体感し、共に行動しながら共感性を高めていく

2. 集団活動へ参加するために身につけておきたいこと

- 生活習慣がある程度身につく、同年齢の健聴児の生活テンポについていける
- 落ち着いて大人の話が聞け、年齢相応の理解力があり、指示に従って行動ができる
- 親から離れても生活習慣がくずれず、同年齢の健聴児と一緒に活動できる
- 補聴器や人工内耳の操作、衣服の着脱、自分の持ち物管理などが年齢相応にでき、それらの扱い方の速度などもしっかり身につけている
- 自分の名前が分かり、呼ばれたら返事ができる
- 友達や先生の名前に興味が広がり、覚えようとする態度ができています
- ある程度言葉でのやりとりが身についていて、先生や友達との共同活動に積極的に参加する態度ができています



難聴児の偏食や速度（その他の行動について）は保育園や幼稚園において問題になることがあります。食事については、お子さんが食べ物に興味を持ち、積極的に食べるよう、ご家庭での促し方や全部食べた時のほめ方などを工夫し、年齢相応の生活テンポが身につくよう努力しましょう！！

また、その他のしつけについても年齢相応にできていることは、集団活動に適応する上で、大切なことです。



通園する幼稚園や保育園について話題にしましょう！！

- 幼稚園・保育園に行く日はカレンダーなどに記入しておき、「幼稚園・保育園」「幼稚園・保育園の先生の名前」「お友達の名前」をしっかりと聴かせましょう。
 - ◇ 「明日は、幼稚園だよ」
 - ◇ 「〇〇ちゃんいるかな？」
 - ◇ 「△先生、おはよう！って、明日は幼稚園・保育園に行こうね。」
- 幼稚園・保育園の日、セラピーの日、家で過ごす日という感覚を少しずつ身につけ曜日を意識して扱いましょう。
 - ◇ 「今日は水曜日だから幼稚園・保育園よ。」
 - ◇ 「今日は木曜日だから〇〇先生とお勉強よ。幼稚園・保育園はお休み。」
 - ◇ 「今日は水曜日だけど幼稚園・保育園はお休み。だってお熱があるでしょ。」
- 可能であれば、お友達の写真や幼稚園・保育園の先生の写真を撮るか、いただくかして、お子さんと一緒に名前を覚えましょう（個人情報のことがありますので、写真を撮る必要がある時はきちんと先生方に確認しましょう）。
 - ◇ 「〇君、今日は幼稚園・保育園にいるかな。」
 - ◇ 「今日は△ちゃんお休みだったね。病気かな。心配ね。」
- 幼稚園・保育園に持っていく持ち物を一緒に準備しましょう（当日の準備が難しいようでしたら、前の晩に一緒に準備をしましょう）。
 - ◇ 「今日（明日）は、幼稚園・保育園だから〇〇を持っていこうね。」
 - ◇ 「〇と△と☆をかばんにしまおうね。」
 - ◇ 「連絡帳は先生に渡すよ。」
- 人工内耳や補聴器の予備の部品をきちんと用意し、聴こえないときは自分で対応できるようにしていきましょう。
 - ◇ 「電池はかばんに入っているよ。」
 - ◇ 「聴こえなかったら、電池を取り替えてね。」
 - ◇ 「聴こえない時は、「聴こえない」って先生にお話ししてね。」



幼稚園・保育園に関する言葉

- 幼稚園・保育園
 - ◇ 確実にになったら幼稚園・保育園の正式名称も意識してお話しましょう
- 組名・クラス名
 - ◇ 自分の組名・クラス名が確実にになったら、自分より小さい組や大きい組についてもお話しましょう。
 - ◇ 「来年は〇組になる（進級する）よ。楽しみね。」
- 給食・お弁当（食べた物）
 - ◇ 幼稚園や保育園で何を食べたかを話題にしましょう。
 - ◇ 給食のメニューは保護者には提供されているものです。「コロッケ」「カレーライス」などメニュー名を聴かせ、絵日記などでも扱ってみましょう。
 - ◇ お弁当であれば、何を食いたいかなどお話しすると良いでしょう。
 - ◇ 帰宅後も「全部食べた」「残しちゃった」→「どうして残したの？」→「お腹いっぱいになっちゃった」など話題を広げましょう。
- 名札（つける場合）
 - ◇ どこにつけるかも話題にしましょう
 - ◇ 「名札つけた？」「どこにつけるの？」「胸につけたよ」
- 連絡帳（ある場合）
 - ◇ 連絡帳がなくても出席ノートなど提出する物がある園がほとんどです。
- クラス担任の名前（〇〇先生）・園長先生
- お友達の名前（〇ちゃん、△くん）
 - ◇ 確実にになったらフルネームも意識的に聴かせていきましょう。
- その他
 - ◇ その他に必ず持参するものがあれば、意識的に聴かせていきましょう。
 - ◇ 行事についても積極的に事前事後のお話しをしましょう。



補聴機器の扱い方（落とした時、濡れた時、電池切れの時など）やお子さんの聴こえの状態（どういう時に聞こえにくいのか）言語（どれくらいのことを理解でき、どのくらいの自発語があるのか）・身体発達（平衡機能について）などを含めた簡単な報告書を療育やマッピングを受けている言語聴覚士の先生にお願いすることも有効です。お願いができるか、聞いてみましょう。また、どの程度の協力が得られるか、事前に園長先生や担任の先生と直接話し合いができると良いと思います。